

番号	人権課題	パッケージ	タイトル	種別	時間(分)	内 容	購入年度	制作年度
123	人権全般		君の景色を知ったとき	D V D	30	私たちが日々身近に使っているものやサービスが、人によっては簡単には利用できないことがあります。障がいのある方や外国人、子どもやお年寄りなど、多くの人にとっての「当たり前」に不便を感じる人がいると気付くこと、そしてそれを人の力で支え合うことの大切さを描いた映像教材です。	2025	2025
122	ヤングケアラー・若年性認知症		みんな笑顔になる日まで	D V D	30	身近な人が困難を抱えていると気付いたとしても、どのように関わったら良いのかわからないことはありませんか？関係性が十分でなかつたり適切な対応を知らなかつたりすると市円をためらったり、相手に支援を断られたりすることもあるかもしれません。「ヤングケアラー」と「若年性認知症」にスポットを当て、支援を必要としている方のことを正しく理解し、どのように関わっていくか考えるきっかけとなる作品です。	2025	2024
121	職場の人権		聴く力～相手を想う 傾聴コミュニケーション～	D V D	23	職場では、多様な背景を持つ従業員が共に働き、さまざまな人権課題が存在しています。本教材では、「障害者」「外国人」「LGBTQ+」「ジェンダー」といった人権課題をテーマに、異なる想いや悩みを抱える人々に気づき、相手の声に耳を傾けることの重要性を示します。自身の言動が誰かを傷つけないために、働く仲間の互いを尊重し、相手の心の声を聴くこと。職場における「聴く力」を育むことをめざしたドラマ形式の映像教材です。	2024	2024
120	高齢者の人権		母のさがしもの～認知症とともに生きる～	D V D	32	認知症は人によって症状も様々です。本企画ではある家族の視点を通じて、症例を織り交ぜながら描くことで認知症に関する理解を深め、認知症の人の不安や家族の悩みを知り、本人や家族の孤立を防ぐために介護者や地域の交流の重要性を示すと同時に、本人の気持ちに寄り添うことの大切さを学びます。	2024	2024
119	ハラスメント		ハラスメントの裏に潜む無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)～職場コミュニケーション向上のヒント～	D V D	24	「アンコンシャス・バイアス」とは、無意識の偏見や思い込みのことで、日常の何気ない言動の中にも表れ、職場ではハラスメントにつながってしまうこともあります。しかし、アンコンシャス・バイアスは誰もが持っていて、完全になくせるものではありません。大切なことは、「自分にもアンコンシャス・バイアスがあるはず」と意識してコミュニケーションを行うことです。	2023	2023
118	いじめ防止		いじめ～それぞれの想い それぞれの言い分～	D V D	23	この教材では、一見非があるように見えるいじめ被害者の事情、正義感がいじめに発展するまでに至った加害者の気持ち、板挟みになる傍観者の心理など、様々な立場にいる生徒を多角的に描くことで、相手の見えない事情を想像することの大切さを提起します。また「晒し」や「ステルスいじめ」といった、現代特有のSNS上のいじめについても注意喚起をしています。	2023	2023

番号	人権課題	パッケージ	タイトル	種別	時間(分)	内 容	購入年度	制作年度
117	インターネットにおける人権		いわれなき誹謗中傷との闘いスマイリーキクチと見えるインターネットにおける人権	D V D	20	ネットでの誹謗中傷やデマは、たいへん大きな問題です。この作品では、20年以上にわたって被害を受け、現在に至るまで誹謗中傷を受け続けながらも乗り越え続ける経験をお持ちのスマイリーキクチさんが出演しています。ネットによる誹謗中傷の現実と対策、そして人権的な課題について、実例を基に考えます。	2022	2021
116	ハラスメント		日頃の言動から考える職場のハラスメント	D V D	29	職場において、日頃の何気ない言動がハラスメントにつながることがあります。誰もがハラスメントの被害者にも加害者にもなり得るのです。ハラスメントを防ぐためには、どのようなことを意識すれば良いのでしょうか。職場で起こりがちなハラスメントやそのグレーゾーンについて、様々な事例をもとに考え方のポイントを解説し、ハラスメントが起こりにくい職場環境づくりについて自分事として考えることができる教材です。	2022	2021
115	コロナ差別		私たち一人ひとりができること～当事者意識をもって考えるコロナ差別～	D V D	26	新型コロナウイルス感染症が拡大する中、感染への不安から、感染した方への誹謗・中傷や、特定の職業につく人々への不当な差別などの、いわゆる「コロナ差別」が問題となっています。本作品は、「コロナ差別」の特徴と、差別や偏見がなぜ生まれるのか、そしてどのように向き合っていけば良いのかを学べる、ドラマ形式の人権啓発教材です。	2021	2021
114	家庭の中の人権		家庭からふりかえる人権 話せてよかったです	D V D	27	①「手伝うんじゃなくて一緒に」～性的役割分担意識に気付く～ ②「その人自身と向き合う」～偏見にとらわれない～ ③「話せてよかったです」～家族だからこそ確かめ合う～の3部構成です。日常の中の自分の中にある思い込みに気付き、自分も相手も尊重する人間関係を築くために職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください。	2021	2020
113	職場の人権		「違い」を「力」にするために～職場のコミュニケーションのヒント～	D V D	26	職場では、グローバル化が進展し少子高齢化が進んだことで、より多様な人材が活躍する時代になっています。そして、職場の多様性が進んでいるなか、コミュニケーションのあり方は、「職場の人権」を考える上でもますます注目度を増しています。この教材では、「違い」を新しく「力」にしていくために、どんなコミュニケーションのあり方でそれを実現していくのか、事例をとりあげながら考えます。	2020	2020

番号	人権課題	パッケージ	タイトル	種別	時間(分)	内 容	購入年度	制作年度
112	職場の人権		ハラスメント・しない、させないための双方向コミュニケーション	D V D	26	ハラスメントをしないためには、相手の立場を尊重した上で自分の意思をきちんと伝えることが大切ですが、ハラスメントをさせないコミュニケーションの可能性もこの作品では描いています。自分にも思い込みや偏見があるかもしれないことを自覚し、互いのズレを修正していく双方向のコミュニケーションが、ハラスメント防止の重要なポイントになるという視点のもと、ハラスメントの入り込む余地を与えない、新しいコミュニケーションの形を提案します。	2020	2019
111	高齢者的人権		はじめて認知症の人々に接するあなたへ	D V D	19	認知症の人にはじめて接するとき、どのように接すれば良いのでしょうか。この教材は、認知症について初めて学ぶ方々を対象としたものです。認知症とは何かという正しい知識、そして認知症の人への接し方の基本。この2つに内容をしぼり、具体的なハウツー映像と、専門用語を使わない平易な言葉で、誰にでもわかりやすく解説していきます。入門編として最適な内容の教材です。	2020	2018
110	外国人の人権		サラーマット～あなたの言葉で～	D V D	36	珠美は、新しく職場に来たフィリピン人のミランダに対し、「違う」を「壁」と捉え、面倒な存在だと感じてしまいます。しかし、自分とは異なる文化や考え方を持つミランダとの交流を通して、新たな視点に気づかされ、「違う」は問題解決の糸口になることも学んでいきます。外国人は助け合うことができる対等な仲間であること、SNSを傷つけるための道具ではなく、人の心と心をつないでいくために利用する様子を描きます。	2019	2019
109	職場の人権		多様性入門	D V D	27	この教材では、多様性とは、ある集団が多様な人を受け入れるという認識ではなく、集団に属する全ての個人がそれぞれに個性を持ち、それぞれの違いをお互い認め、活かし合うことだということをテーマに据えています。このテーマについて、身近で誰もが経験しうる事例を丁寧に解説することで、多様性尊重への入門編となるよう制作しました。	2019	2019
108	高齢者的人権		防ごう 高齢者虐待～日常の介護から考える～	D V D	28	本作品では、働きながら認知症の親の介護をしている二つの事例を、老老介護の話も含めドラマで描いていきます。どのような場面で虐待をしそうになるか示すことで、視聴者が虐待発生を未然に防ぐにはどうすればいいかを考え、理解できることを目的に制作しています。	2019	2015

番号	人権課題	パッケージ	タイトル	種別	時間(分)	内 容	購入年度	制作年度
107	障害者		知りたいあなたのこと 外見からはわからない障害・病気を抱える人	D V D	21	この作品では、2人の難病患者さんと、てんかんと発達障害をもつ大学生を取材しました。どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのか。外見からはわからない障害や病気を抱える人の話を通じて、私たちにできる配慮を共に考えてゆく内容です。	2019	2019
106	子ども・若者的人権		君が、いるから	D V D	34	子どもや若者が被害者や加害者になる悲痛な事件が後を絶ちません。この作品は母親からの心理的虐待に悩む若者が、コンビニエンスストアでのふれあいを通して新たな価値観を気づき、信頼することの先に「希望」と「幸せ」を描いています。子どもや若者が社会的に成長し自立していくために、人と人との関わり支え合うことの大切さを考えてみましょう。	2018	2018
105	障害者		お互いの本当が伝わる時～障害者～	D V D	24	障害者に対する「不当な差別的取扱いの禁止」「合理的配慮の提供義務が近年定められました。この作品は障害のある人がどんな場面で困っているのか、どんな『バリア』があるのかを4つの具体例によりどのように除いていいけばよいのかや障害のある人から発信する重要性を示しています。障害のあるなしに関わらず皆で共生していく事を考えてみましょう。	2018	2018
104	人権全般		忍たま乱太郎のがんばるしかないさシリーズ	D V D	30	【小学生低学年向け】 『良いと思うことをおこなうこと』『あたたかい心でしんせつにすること』『きまりを守って協力しあうこと』を3巻によって学べます。アニメーション作品ですので小学校低学年の道徳授業や地域の子どもも会でご活用ください。	2018	-
103	SNS		みんなの情報モラルⅢ アニメーションで学ぶ! SNSに潜むリスク	D V D	21	【小学生～高校生向け】 SNSの危険性を3本のアニメーションで学びます。知らない人とのやり取りによる個人情報の流出や使用する側の過ちにより誤った情報の拡散など3本のドラマ仕立てとなっています。SNS時代を生きる子どもたちが取り返しのつかない事態に陥る前に、学校や地域で有効に活用してください。	2018	2017
102	外国人の人権		ウエルカム	D V D	16	日本で暮らす外国人は増えてきています。外国人と働くには、多様性を尊重し、その文化を受け入れると同時に私たち日本の文化や習慣を尊重してもらうことも必要です。この作品は、企業の広報担当者を主人公に異文化の壁をむしろ扉ととらえ開いていくことが大切であると伝えています。	2017	2016

番号	人権課題	パッケージ	タイトル	種別	時間(分)	内 容	購入年度	制作年度
101	インターネット人権侵害と高齢者、外国人の人権		わつかカフェへようこそ	D V D	35	中学校になって初めてスマートフォンを持った中学生の主人公がSNSを通して起こした人権侵害」「高齢者が重ねてきた人生に耳を傾けること」「外国人を知ることの大切さ」をそれぞれのドラマと解説、事例から学ぶことができます。心から交流できる場(よりどころ)があることが大切であると伝えています。	2017	2015
100	女性の人権		あした咲く	D V D	36	この作品は、生き方の異なる姉妹である独身会社員の妹と、専業主婦の姉がそれぞれの立場ゆえの悩みや葛藤から家族との対話や地域の人とのふれあいを通して別の視点や価値観に気づきます。性別に関わりなく互いに人権を尊重し、共生社会を目指すために私たちが日常生活の中で心がけることを伝えています。	2017	2017
99	ターミナルケアと人権		いのちに寄り添う	D V D	35	終末医療の在り方、病気との向き合い方はひとりひとり違います。ただひとつ言えることは「誰もが命の主人公」であること。この作品は「最期を迎える人のために」「働き続ける人のために」「互いの命を尊重するために」の3つのチャプターで現代に生きるすべての人々が学ぶべき命の教材となっています。	2017	2017
98	インターネット同和問題		あなたに伝えたいこと	D V D	36	インターネットはその利便性とともに差別的な書き込みや、自他との適切な距離が保てないネット依存など陰の部分もあります。この物語の主人公は若い女性で、インターネットの書き込みが原因で祖母や母が同和問題で辛い思いをしてきたことを知り、彼女の結婚話を中心に、恋人や友人などの関わりを通して、ネット上の情報だけではなく、実際に人とふれあう中で正しく知ることが、差別をなくしていくために重要であることを伝えています。	2017	2017
97	LGBT		誰もがその人らしく	D V D	20	LGBT(性的少数者)の人たちが見えてくるストーリーで、4つのチャプターごとにドラマと振り返り解説により伝えています。社会の偏見がまだまだ強く、存在していてもなかなか見えないのが現状のLGBTの人たちは偏見や差別に苦しんでいます。誰もが自分らしく生きることを考え、たまたまその位置にいる人々というふうに客観視できれば、誰もが行きやすい社会をつくることができるはずです。	2017	2017

番号	人権課題	パッケージ	タイトル	種別	時間(分)	内 容	購入年度	制作年度
96	同和問題		そんなの気にしない	D V D	17	この作品は、二人の友だち同士が主人公です。タイトルの「そんなの気にしない」は、親友に自分が同和地区出身だということを告白したときに返ってきた言葉です。告白したほうは、相手にもっと知つて欲しかった。告白されたほうは相手が、そのままの相手で何も変わらないことを伝えたかった。私たちが普段なにげなく使う言葉や態度のなかには、相手を傷つけるものがあるかもしれません。壁を乗り越えるのもまた相手を信じる力だということを伝えています。	2016	2016
95	障がい者の人権		障がいを越えて	D V D	30	障がい者は、自分とは違う世界の人。自分とは違う存在や理解しにくい相手を恐れ、排除してしまう…。そんな「心のバリア」を、あなたも感じたことはないですか。この作品に出ている人たちの多くも、最初は壁を感じていました。しかし、相手に向かって一步踏み出すことで、必ず壁には穴があき、そこから新しい景色が見える…。そんな三つの実例を追いかけました。	2016	2016
94	若年性認知症、同和問題、LGBT		光射す空へ	D V D	46	3つの人権問題をテーマにしたアニメの物語です。大学生の主人公には悩みがあります。父が若年性認知症と診断されました。父は会社を休職中。母は明るく振る舞っていましたが、主人公は記憶や理解力を失っていく父に苛立ちを隠せません。この他に、同和問題、LGBTの内容も含めた物語となっています。	2016	2015
93	子どもの人権、同和問題、障がい者の人権		イマジネーション 想う つながる 一歩ふ みだす	D V D	34	この作品は、「人権」を自分の問題として、また日常の問題として考える機会となるように制作したものです。人権学習だけでなく、家庭教育やボランティア活動など幅広い場面で活用できるよう構成されています。3つのドラマやドキュメント①子どもの人権(いじめ問題)、②同和問題、③障がい者の人権(発達障害)がありそれぞれ各10分程度です。ある小さなラジオ番組のオンエアから物語は始まります。	2016	2014
92	高齢者的人権(認知症)		認知症と向き合う	D V D	30	この作品は、認知症によくみられる症状、認知症の人の思いと家族の気持ちの変化、症状の理解、介護者の交流の大切さなどを描いたドラマ教材です。認知症の人もその周囲の人も、よりよく生きていけるように。認知症について正しい知識を持ち、認知症の人の視点に立って認知症への理解を深めることを目的に制作されています。	2016	2016

番号	人権課題	パッケージ	タイトル	種別	時間(分)	内 容	購入年度	制作年度
91	障がい者の人権		風の匂い	D V D	34	この作品はスーパーで働く青年、歩と正人が主人公です。歩には知的障害がありますが、子どもの頃は共に遊び、学ぶ大切な友だちでした。しかし、大人になった二人を隔てる健常者と障害者という壁。その壁を作っているのは誰なのか。歩との再会で正人は自分の心と向き合い、壁をなくそうと動き出します。二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある『合理的配慮』についても触れ、見る方が自身の問題として考えるきっかけとなるドラマです。	2016	2016
90	高齢者的人権(認知症)		ここから歩き始める	D V D	34	この作品は、「認知症を共に生きる」をテーマに、高齢者問題を人の幸せと尊厳を守るという人権の視点から捉えます。認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤ときずなのがぎなおしを描くことで、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなるドラマ教材です。	2015	2015
89	人権全般		身近な人権問題 人権は小さな気づきから	D V D	34	「こんな時、あなたはどうしますか?」身近な人権問題8項目を題材に、気づきを促すための教材です。人権は心の問題であり、命の問題です。一人ひとりが人権に対する意識を少しずつ持つ事で、救える命もあります。本作品は、身近な人権問題に気づき、普段の生活の中で人権問題を意識させるために問いかけ、考えさせる教材です。	2015	2014
88	子どもの人権(子どもの虐待)		防ごう 子どもの虐待 ~日常の子育てから考える~	D V D	25	子どもの虐待が深刻な社会問題となっています。虐待というと、子どもを殺しかねないような激しい暴力を思い浮かべがちですが、必ずしもそういう行為ばかりを指すのではありません。私たちの日常の中で、不適切な子育てを繰り返せば虐待になりうるのです。虐待の芽は日常生活の中に潜んでおり、誰もが虐待の当事者になる可能性があるともいえます。そのような観点から本作品では、ドラマと監修の片倉昭子さんの解説を通して、日常の子育ての中で起こしがちな問題点を示し、虐待を防ぐために私たちができる描いていきます。	2015	2015
87	いじめ・障がい者との共生		聲の形(こえのかたち)	D V D	30	道徳の授業の教科化に伴い、いかにして子ども達を「心の豊かな人間」に育てるか様々な議論がなされております。原作の「聲の形(こえのかたち)」は現代の子どものリアルな表情を描きつつ、「いじめ」や「障がい者との共生」などの難しいテーマを、読者が自然に考える事のできる優れた物語です。本作は原作の物語を基本に、教材としてのテーマを付加したドラマ形式の学習教材です。「いじめ」や「障がい」に対する意識と知識を高め、学校や家庭内で話合うきっかけとしてお役立て下さい。	2015	2015

番号	人権課題	パッケージ	タイトル	種別	時間(分)	内 容	購入年度	制作年度
86	道徳・特活		ココロ屋	D V D	25	「ココロ」とは何でしょう?これは、私たちにとって永遠の謎であり、自分の「ココロ」を問い合わせ続けることが、私たちの人生のテーマの一つでもあります。学校教育においても、道徳の時間は心についての教育です。また、特別活動も児童の心と行動を育てるための時間であり、総合的な学習の時間なども含め、この教材の活用の機会は多いものと考えられます。また、自分の心を大切にし、相手の心も大切にするという、人権教育の基本的な考え方が盛り込まれています。未来を担う児童のための、有用なアニメーション教材としてご活用いただければと思います。	2015	2014
85	家庭の中人権		カラフル	D V D	31	「人権問題」というと、難解で、政治や法律や一部の組織に関わる人だけに関係があるものだと思われがちです。しかし「人権」の問題は、"人間"の問題。私たち1人ひとりが生きていく日々の中に存在します。気づかずにはいると、知らず知らずのうちに他者の人権を侵害してしまうこともあります。そして人権に対する意識の基盤は、家庭の中で育まれていきます。このビデオでは、両親と人生の巣立ちの時を迎えた子どもたちの会話を通じて、家庭の中にある人権課題を取り上げました。1人ひとりが「人権」に対する意識と知識を高め、地域や家庭で話し合うきっかけとしてお役立てください。	2014	2014
84	発達障害		秋桜(コスモス) の咲く日	D V D	34	この映画は、「目に見えにくい違い」の一つとして発達障害をとりあげています。発達障害のある人の生きづらさや痛みを真摯に伝えるとともに、「違い」が生み出すプラスのエネルギーを美しく群生するコスモスの花々と重ね、「ともに生きることの喜び」を伝えます。	2014	2014
83	いじめ防止		いじめはやめられる! ~みんな加害者~	D V D	17	いじめは、クラス内に観衆や傍観者が生まれることで大きくなると同時に、大人の眼には見えなくなっています。また昨今では、多くの観衆を求めて、ネット上にいじめの動画を流すという事案も出てきました。観衆・傍観者であれば、加害者ではないのか…。いじめを受け入れてしまうひとりひとりにならないために何が必要なのか。子どもたちに、いじめについて新たな問題を提起するドラマ形式の教材です。	2014	2013
82	道徳・特活		負けるな!千太 ~さよならいじめ虫~	D V D	24	人間も他の生き物と同様に、残酷な心、攻撃する心を持っています。誰の心の中にもいじめ虫がいるのです。今、ひとりひとりが自分のいじめ虫と向き合い、どう付き合っていくかが問われています。この物語は、弱い者への慈しみや命の尊さを基本に、誰の心にもいじめ虫がいる事、いじめという行為が如何に醜く無益であるかを、アニメーションの特性をフルに活用して描いています。命とは? 人間とは? いじめとは?	2014	1997

番号	人権課題	パッケージ	タイトル	種別	時間(分)	内 容	購入年度	制作年度
81	社会教育 生きる力 人と動物のふれあい やさしさ思いやり 奉仕の心 環境問題		よっちゃんの 不思議なクレヨン	D V D	22	やさしいよっちゃんと森の動物たちの温かい生命の物語。 おばあちゃんから不思議なクレヨンをもらったよっちゃん。 そのクレヨンで絵を書くと次々と描いたものがとびだしてきます。心のやさしいよっちゃんは絵に描いた果物を、ほしがる小鳥や動物達に与えます。自分のほしいものを全部動物達に取られ、悲しくなったよっちゃんは、最後に残った黒と白と茶色のクレヨンで描いたものは…。不思議なクレヨンが色々な心を教えてくれます。	2014	2004
80	人権全般		人権ってなあに あなたへのメッセージ	D V D	61	「人権」って、言葉にするとなんだか堅苦しい。でもあなたの周りで、「これって変だな?」と疑問に思うことって、きっとあるはず。そのきっかけは学校、友達、恋人、職場etc、案外、身近な所に……。そんな小さなきっかけを大人になっても忘れずに、でもそれに縛られることなく、軽やかに生きている各界で活躍されている7人の方からのあなたへのメッセージ集。	2013	2011
79	職場の人権		自他尊重のコミュニケーションと職場の人権	D V D	23	働きやすい職場環境をつくるには、社員それぞれがお互いの立場を理解し尊重しあい、適切にコミュニケーションをとっていくことが大切です。 この教材は、職場の身近なコミュニケーション不全がハラスメントの問題につながっていくことをドラマ形式でわかりやすく伝え、どうすれば健全な職場環境を育てることができるか皆で考えていくための教材です。	2013	2013
78	女性の人権		わたしからはじめる人権 女性の人権編	D V D	17	女性の人権問題を、ドラマ・ドキュメンタリー、解説と三つのパートで構成。指導の手引の設問集とともに、自分が被害者、加害者、傍観者になっていないか、問いかけてゆきます。そして被害者たちの心の痛みを知ることを通して、日常に差別があった場合、どうするかを考えてゆきます。	2013	2013
77	家庭の中の人権		生まれ来る子へ	D V D	25	「人権」とは?「誰もが生まれながらに持っている“幸せになる権利”です」(法務局より引用)人は皆、幸せになるために生きています。その一方で、誰かを傷つけ、排除し、幸せになる権利を侵害しています。このドラマでは、「家庭の中の人権」に目を向け、祖父母と孫夫婦の会話を通して、私たちの身の回りにある人権問題をクローズアップしました。家庭の中で、人権の尊さについて語り合い、伝えていくことは、すべての「いのち」を大切にすることでもあります。気づくこと、そして、行動することの大切さを描きます。	2013	2013

番号	人権課題	パッケージ	タイトル	種別	時間(分)	内 容	購入年度	制作年度
76	職場のコミュニケーションと人権		私が私らしくあるために	D V D	26	どこにでも見られる職場の日常風景。しかしその 中にあるちょっとしたコミュニケーションの失敗が仲間を傷つけてしまうことがあります。職場のコミュニケーションを見つめなおす、ドラマ形式の作品です。	2013	2009
75	ケータイ・ネット社会と人権		あの空の向こうに	D V D	38	私たちが何気なく使っているケータイやインターネットが、ある日突然「凶器」に変わってしまう。ケータイやインターネットによる人権侵害は、いつ、だれの身に起きても不思議ではない深刻な問題です。誰もが被害者に、そして加害者になり得るのです。このドラマは、決してケータイやインターネットを敵視するものではありません。文明の利器と凶器に変えるのも、傷ついた心を癒すのも「人」なのです。本当の意味での心のつながりとはどういうことかを改めて見つめ直し、お互いに「思い」を交わし、心の寄り添うようなコミュニケーションを図ることの大切さと家庭の果たす役割にも気づかせます。	2013	2010
74	共生社会と人権		桃香の自由帳	D V D	36	家族形態の変化や一人暮らし世帯の増加が進む中、人々の地域などの意識や関わり方が大きく変わり、互いにふれあい、支え合うことが少なくなっています。そのため、同じ地域に暮らしていても、名前さえ知らなかつたり、相手のことを誤解して排除したりするなど、私たちは気づかぬうちに「人とのつながり」を自ら断ってしまうことがあります。このドラマは、劇的な事件は描かず、どの地域でも起こりうる出来事に光を当てています。日常の何気ない言動を振り返ることで、現代を生きる私たちが見失いつつある、人と人との寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かについて語りかけます。	2013	2012
73	パワハラ・子どものいじめ		こころに咲く花	D V D	35	今、学校や地域でのいじめ、職場でのパワハラ、セクハラが人権侵害として大きな社会問題になっています。いじめは決して他人事ではなく、「私」、「自分」の問題なのです。それは、いじめに関して私たちは皆、いずれかの形で加害者、被害者、観衆、傍観者のなかにいると言われているからです。そのことを自覚しているか、いないかでは状況は大きく変わってきます。このドラマでは、いじめ構造のなかで多数を占める傍観者、観衆たちが一歩踏み出して、勇気をもって声を発すれば、必ずいじめの解決につながるということを訴えかけます。	2013	2007

番号	人権課題	パッケージ	タイトル	種別	時間(分)	内 容	購入年度	制作年度
72	人権尊重される安全安心なまちづくり		親愛なる、あなたへ	D V D	37	現在、都市化や核家族化が進行し、地域社会における人々の結びつきが弱まっています。近隣同士であっても互いに無関心、無理解でいることにより、様々な人権問題が起きています。本来、地域の主人公はそこに暮らす全ての人々であるはずです。しかし、実際には、自分も「まちづくり」の主人公であることをすっかり忘れて、他人任せになりがちです。このドラマは、一人の人間の『気づき』こそが、互いに支えあう力が低下した地域の『再生』につながります。無関心、無理解という冷たい壁を破って、温かい見守りと相互支援を進めることの大切さを語りかけます。	2013	2013
71	無縁社会と家族		ヒーロー	D V D	34	近年、社会から孤立している人が増えてきており、孤独死などが大きな社会問題となっています。家族や地域、職場のつながり、いわゆる血縁や地縁、社縁の希薄化による問題です。こうした「無縁社会」と呼ばれる社会状況に対し、私たちに何ができるでしょうか。この作品の主人公の行男は、働き盛りのサラリーマンです。地縁社会と縁を持たなかった行男があるきっかけから地縁と関わるようになり、今まで意識しなかった近所の高齢者や家族と出会っていきます。そうした体験の中で、自分の家族との絆も深めていきます。	2013	2013
70	いじめ問題		いじめと戦おう！小学生篇～私たちにできること～	D V D	21	いじめはどのようにして起こり、どうすれば防げるのかを知っておくことは、現代に生きる小学児童にとって必要な事と言えると思います。本教材は鑑賞した児童が、いじめの、当事者、被害者、傍観者の立場を理解し、考えることができるドラマ形式の教材です。またクラスの大多数を占めるであろう傍観者が、いかにして“いじめの構図”を崩せるかという視点を中心に、いじめ問題全体について話し合うために活用頂けます。	2012	2012
69	いじめ問題		いじめと戦おう！中学生篇～もしもあの日に戻れたら～	D V D	23	いじめはどのようにして起こり、どうすれば防げるのかは保護者や教員にとって大きなテーマともいえます。本教材は、鑑賞した生徒がいじめのメカニズムや対策を自身の身に置き換えて考えることができるドラマ形式の教材です。いじめられっ子の立場だけでなく、傍観してしまっている生徒たちが、いかにしてクラスの“いじめの構図”を崩せるかという視点を中心に、いじめ問題全体について話し合うために活用頂けます。	2012	2012
68	いじめ問題		いじめ脱却マニュアル —今すぐできる対応法—	D V D	32	子どもたちのいじめ体験を再現ドラマとして挿入しながら、よりわかりやすく、いじめへの対応法を解説します。子どもの心情を汲み取りつつ、教師の立場、親の目線、カウンセリングの視点から総合的にいじめをとらえ、現場ですぐに活用できる対策が紹介されています。 【解説者】大日向雅美さん、尾木直樹さん、斎藤環さん	2012	2007

番号	人権課題	パッケージ	タイトル	種別	時間(分)	内 容	購入年度	制作年度
67	傍観者・無関心からの脱却		虹のきずな (アニメ)	D V D	31	小学校の図書館で読み聞かせのボランティアをしている、大学生のひかりが出会った、中国人の転校生・タオロン。つたない日本語が原因でいじめられるようになってしまったタオロンに、ひかりは声をかけられずにいた。実はひかりには、いじめを傍観した過去があったのだ。そんなふたりが一冊の絵本に出会い、踏み出した一歩とは…?	2012	2012
66	人権全般		ねずみくんのきもち (アニメ)	D V D	12	いじめやコンプレックスなど、大切なテーマを、赤いチョッキが自慢のねずみくんと一緒に学べるアニメーション。一人一人が大切な存在であること、共に生きていることを感じられる作品です。	2012	2008
65	人権全般		ねずみくんのチョッキ2 (アニメ)	D V D	38	赤いチョッキが自慢のねずみくんと、ゆかいな仲間たちのほのぼのストーリー。 第1話 またまた！ねずみくんのチョッキ 第2話 ねずみくんとおんがくかい 第3話 ぞうさんとねずみくん 第4話 ねずみくん ねずみくん 第5話 ねずみくんのひみつ 第6話 ねずみくんのたんじょうび	2012	2006
64	人権全般		ねずみくんのチョッキ1 (アニメ)	D V D	38	赤いチョッキが自慢のねずみくんと、ゆかいな仲間たちのほのぼのストーリー。 第1話 ねずみくんのチョッキ 第2話 りんごがたべたいねずみくん 第3話 コップをわったねずみくん 第4話 また！ねずみくんのチョッキ 第5話 ねずみくんのブランコ 第6話 ねみちゃんとねずみくん	2012	2006
63	高齢者 外国人 原発事故への 風評被害		ほんとの空	D V D	36	高齢者や外国人に対する排除、不利益な扱い、同和問題や原発事故に伴う風評被害の問題など、誤解や偏見に気づき、人と深く向き合うこと、他者の気持ちを自分のこととして思うことの大切さを感じることができるドラマ。	2012	2012

番号	人権課題	パッケージ	タイトル	種別	時間(分)	内 容	購入年度	制作年度
62	デートDV 自死防止 ホームレス問題 ハンセン病		あなたの偏見、わたしの差別 ～人権に気づく旅～	D V D	30	人権という言葉はよく耳にしますが、自身の問題として考える機会は少ないのでないでしょうか。しかし、少し視野を広げてみれば、身の回りには様々な人権に関する問題や課題があります。本作では、人権問題に興味を持つ若者4人に集まつてもらいました。彼らが気づき、体験し、感じたことは、まさに人権に向き合うための旅とも言えます。4人の中で深まっていく議論とそれぞれの意見は、人権問題を考えるための確かな手掛かりになるはずです。	2012	2012
61	自殺予防 うつ病		働き盛りを襲う“うつ病” 職場の中での自殺対策	D V D	25	うつ病は、何らかの原因で脳の神経伝達システムに異常が起こって、生きる意欲を失う病気です。自殺に及ぶリスクが高く、30代を中心、働き盛りでうつ病を発症する人も増えており、うつ病に苦しむ従業員の増加は、今や深刻な社会問題となっています。そこで、この作品では、これから企業がうつ病に対して、どのように取り組むべきなのか。専門医の話や、企業のうつ病対策、自殺予防対策などの取材、再現ドラマを交え、詳しく解説しています。	2012	2011
60	女性の人権		どう守る 女性の人権 女性が活躍できる職場づくり	D V D	24	ある食品メーカーで働く佐伯洋子は、10年前大きな夢を抱いて、この会社に就職した。でも現実は、後輩の男性にばかり責任ある仕事が与えられ、なかなか自分の権利は認められない。根強く残る職場での女性差別。どうしたらこの問題は解決できるのだろうか。	2012	2012
59	子どもの人権 児童虐待防止		あたたかい眼差しを 虐待から子どもを守る	D V D	22	なぜ、児童虐待が増えているのでしょうか。どのようにすれば、虐待から子どもの命を救うことができるのでしょうか。 周囲の人々が援助する方法はないのでしょうか。本作品では、それらの問題点をケーススタディドラマや関係者の話などで探り、解決の方向性を示します。	2012	2012
58	いじめ問題		いじめなんか、いらない!! 東日本大震災から、私たちは学んだ	D V D	15	東日本大震災の被害は、住宅や商店ばかりでなく、学校にも押し寄せました。明日も続くと思っていた学校生活、いつでも会えると思っていた友達の姿が一瞬にして奪われてしまう…。 この作品は、被災した中学校、変わり果てた町の姿、大人・子どもたちのコメントを中学生たちが視聴し、いじめが、いかに、今の生活やいのちのありがたさを忘れて起きているかを自覚していく姿を描いたものです。	2011	2011

番号	人権課題	パッケージ	タイトル	種別	時間(分)	内 容	購入年度	制作年度
57	いじめ問題		いじめケース・スタディ ーみんなで考えようー	D V D	16	いじめには、無視、暴力、プロフ・ブログ・掲示板(学校裏サイト)での誹謗中傷などがあります。ケースによって、対処法には違いがあります。本作品は、それぞれのケースに合わせて、どのような対応をすれば、いじめ被害を解決できるか、保護者や教師にどのように相談していけばいいかを、再現ドラマを交え、教育評論家尾木直樹先生がわかりやすく解説したものです。子どもたちが話し合いの中で、人権を尊重する心を育てられるように制作されています。	2011	2010
56	子どもの人権 児童虐待防止		起こる前に考える子ども虐待	D V D	39	孤独な群集がうごめく今、社会の病「虐待」をどのように理解したらよいのか、子どもたちを守るあらゆる立場の人のための6つの断章。 1. 社会問題化している虐待 2. なぜ起こる子ども虐待 3. 虐待を起こしてしまう感情のうねり 4. 虐待を受けた子どもの反応 5. 愛着形成と子どもの育ち方を知る・虐待防止のために 6. 虐待防止にむけたさまざまな取り組み	2010	2009
55	精神障がい者		そよ風はどこにでも第2巻 くらす はたらく つどう	D V D	45	精神障害者の社会復帰と社会参加についての関心と理解を広げることを目的に制作されました。 東京、川崎における特色ある精神保健活動の実際を、当事者、職員、指導員、ボランティアの方々へのインタビューを交え、紹介します。また、座談会では、「これから地域精神保健のあり方」をテーマに寺谷隆子さん、小平保健所保健サービス課・柏木章一さん、すずしろコミュニティー所長・川上高弘さん、田中英樹さんの4人の方に語っていただきます。	2010	1995
54	精神障がい者		そよ風はどこにでも第1巻 いつでも どこでも だれにでも	D V D	30	精神障がい者の社会復帰と社会参加についての関心と理解を広げることを目的に制作されました。 川崎市幸区における地域精神保健の実際場面を見ながら蜂矢英彦先生には日本における精神科医療の変遷、「病気と障がい」、「医学的・社会的・職業的リハビリテーションの課題」等について、田中英樹さんには「医・職・住・仲間」、共同作業所、グループホーム、仲間づくり、ボランティアの拡がり、市民的理解等を解説していただきます。	2010	1995

番号	人権課題	パッケージ	タイトル	種別	時間(分)	内 容	購入年度	制作年度
53	障がい者	DVDパッケージ: 障害のある人とのふれあいと人権 -今まで声をかけられなかつたあなたへ-	障がいのある人とのふれあいと人権 —今まで声をかけられなかつたあなたへ—	DVD	23	<p>安心して暮らせる社会を築いていくためには、健常者と障がい者が助け合うことが重要です。街で障がい者に出会ったとき、どのように行動したら良いのか、実際の場面を見ながら考えていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目の不自由な人と出会った場合 ◆耳の不自由な人と出会った場合 ◆車いすの人と出会った場合 	2010	2008
52	セクシュアル・ハラスメント パワー・ハラスメント 障がい者 同和 ジェンダー	DVDパッケージ: 人権のヒント 職場編	人権のヒント職場編 気づきのためのエピソード集	DVD	22	<p>ごく普通の会社員の日常を描きながら、日ごろは気づかない「人権のヒント」を探り、職場のなかで私たちが考えるべき人権問題について提起する内容。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「男女の役割」女性は常に男性にリードされるべき存在ですか？ ■「セクシュアル・ハラスメント」相手がいやがる言動はすべてセクハラです。 ■「パワーハラスメント」相手の立場に立つことが大切です。 ■「双方向のコミュニケーションがつくるもの」普段からの関係が重要です。 ■「アサーティブな主張」キーワードは(心くばり)と(思いやり)です。 ■「障がい者との共生」障がい者を先入観だけで見ていませんか。 ■「出自で差別」ある地域出身というだけで差別される同和問題は今も残っています。 ■「ダイバーシティの尊重」多様性を認め合うことがとても大切です。 	2010	2010
51	女性 障がい者 同和 外国人	DVDパッケージ: 人権のヒント 地域編	人権のヒント地域編 「思い込み」から「思いやり」へ	DVD	25	<p>街の喫茶店「カフェ・ヒューマンライツ」のママのところに、さまざまな思いをいだいた人が集まつてくる。その交流のなかから、「人権のヒント」を考え、それぞれの違いを思いやる心の大切さを理解していく内容。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■結婚したら女は家庭に入るのが常識？ ■障がいのある人は何が何でも介護されるべき存在でしょうか？ ■自分を通すために強く主張して相手を傷つけたり、いい出せなくて自分が傷ついてしまつたりしたことはありませんか？ ■同和問題や外国人差別など、根拠のない思い込みと決めつけはありませんか？ 	2010	2010

番号	人権課題	パッケージ	タイトル	種別	時間(分)	内 容	購入年度	制作年度
50	インターネット人権全般		インターネットと人権	D V D	22	インターネットは便利な存在だが、使い方を誤ったり悪意がなくても、人を傷つける「凶器」になりえる。インターネットの特性を悪用した、社会的弱者といわれる人々に対する人権侵害事件も多発している。財団法人インターネット協会で受け付けている相談の中には、女性や青少年に対する深刻な人権侵害事例がある。また、在日コリアンの人々に対する差別的な書き込みや、障害者、部落差別についての人権侵害事例なども起こっている。このビデオでは、こうした人権侵害のそれぞれの当事者に、状況や思いなどを語っていただく。こうした人権侵害は、弱者だけでなくごく普通に生活している人々に対して起こることもある。分娩中に亡くなった女性に関するバッシングについて、当事者の声を聞く。ネット被害を防ぐために私たちがどう考えるべきか、新潟清陵大学の碓井真史教授のお話も伺いながら、問題提起していく。	2010	2010
49	メンタルヘルス		メンタルヘルスと人権	D V D	30	ある商品製造会社で働く30歳の堺は、どこにでもいる会社員です。無遅刻無欠勤だった彼が日々の過重な業務とパワー・ハラスメントによって疲れていきます。妻とのありふれた日々にも亀裂がうまれ、やがてうつ病へ、そして回復期から職場復帰まで。うつ病の彼を取り巻く人々、上司・同僚・家族と当事者本人の視点から考える問題提起型ドラマです。	2010	2009
46	高齢者		夢のつづき (アニメ)	D V D	40	家族の中で疎外感を抱く高齢者、認知症を患う高齢者、その介護に疲れ果てた高齢者や無気力な毎日を送る若者らが、世代の異なる者とのふれあいや、高齢者を支援するサービスの活用などで、家族のきずなを深め、生きがいを感じられる生活を送ることができるようになっていく様子を描いています。	2009	2008
45	外国人 障がい者 部落差別 インターネット での人権侵害		日常の人権2 一気づきから行動へ	D V D	23	日常生活の中に潜むさまざまな人権問題を取り上げています。ドラマで人々の心にある偏見を、そしてドキュメンタリーで差別や偏見などで苦しむ人々の心の痛みを伝えます。人権について、さまざまな角度から考えることができる作品です。	2009	2009

番号	人権課題	パッケージ	タイトル	種別	時間 (分)	内 容	購入 年度	制作 年度
44	女性 子ども 高齢者		日常生活の人権1 一気づきから行動へ	D V D	23	日常生活の中に潜むさまざまな人権問題を取り上げています。ドラマで人々の心にある偏見を、そしてドキュメンタリーで差別や偏見などで苦しむ人々の心の痛みを伝えます。人権について、さまざまな角度から考えることができる作品です。	2009	2009
40	人権全般 いじめ		ありったけの勇気	D V D	27	友達との関わりや相手の気持ちを考えることの大切さ、いじめをなくすためにお互いに認め合い、本音で話せる関係づくりなど、いじめに立ち向かう勇気の大切さを伝えます。	2008	2007
39	人権全般		えつ！これも人権？～4コマ劇場より	D V D	30	日常生活のふとした出来事などを例にあげ、「なるほどこれも人権問題なんだ」とその大切さに気づく4コマ・マンガと実写でわかりやすく構成されています。	2008	2007
38	外国人問題 同和問題 子どもの人権		響け大地に、人の心に	D V D	30	1 外国人の人権 2 同和問題 3 子どもの人権 4 一人ひとりの人権を大切にするために	2007	2007